

杣池自然園上部激パウ山スキー報告

【山城】北アルプス・乗鞍岳

【日程と天気】2020年2月8日、曇り時々雪

【メンバー】CL 菊池・SL 坂倉・渡辺(俊)・田形・飯郷(会員外)

【行程】

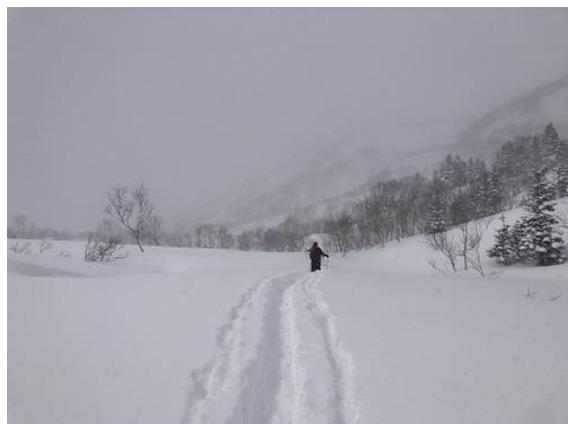
千葉—杣池スキー場駐車場—ゴンドラトッパーシール登高一杣池自然園—2030m から滑走—自然園—往路を滑走—杣の森ゲレンデ—ゲレンデ滑走—駐車場



・2月に入り寒気が続き杣池スキー場の積雪も185cmと増加していた。2/8は雪模様であるが風が弱く、多くのBC愛好家が天狗原の方に向かって入山、我々は静かな自然園に向かうこととした。まず杣の森ゲレンデの左脇を登り、林道をショートカットする。杣池ヒュッテの脇を通過。誰もいない静寂の自然園に降り立つ。夏山シーズンにはよく来る自然園、BCでは十数年前の4月に自然園から船越の頭に登り上げ金山沢を滑走したことがあるが、巖



冬期の自然園は初体験である。右側の南向き斜面の滑走しやすいラインを物色しながら進んだ。厳冬期にこんな素晴らしい静寂の湿原を歩くななんてなんて贅沢であろうか。BCの醍醐味に一同大感動している。



狙いを定めた滑走ラインのハイクアップのハイクアップが始まる。新雪が 40~70 cm程の激ラッセルであるが雪質は軽いパウダー。積雪が増えたとはいえ小雪の今期、藪がやや煩い。斜度が増すと厳しい。5人メンバーで小生以外は 47 才~55 才の若手 (?), 力強いラッセル力に引っ張られ最後尾でついて行った。南斜面のためオープン急斜面の下にはやや硬い弱層が部分的に認められており、乾燥粉雪のため雪崩要注意である。



- ・ 低木の残る 2030m をエントリーポイント（これ以上上部はオープンで急斜面となる雪崩危険エリアと判断）として滑走準備とピットチェックを行った。1m 程掘り下げ、はっきりした弱層はないがこの数日の新雪は軽く落ちやすいようである。オープンの急斜面は避けるように慎重に滑走すること



とした。登りラインに沿って滑走するよう指示、エントリーポイントからのショットです。



まず小生がエントリー、今シーズン最深の超デープパウダーであるが軽い乾雪であるため、ターンし易い。緩斜面でも軽い激パウのため気持ち良くターンできる。エントリーポイントのメンバーに滑り感覚をアドバイスし、崖のある急斜面をバックに記念撮影した。トシちゃんのテレパウダーランが始まりました。



1週間前、西大巔で人生最高のパウダーランを経験したIGさん、今回さらに人生最高の



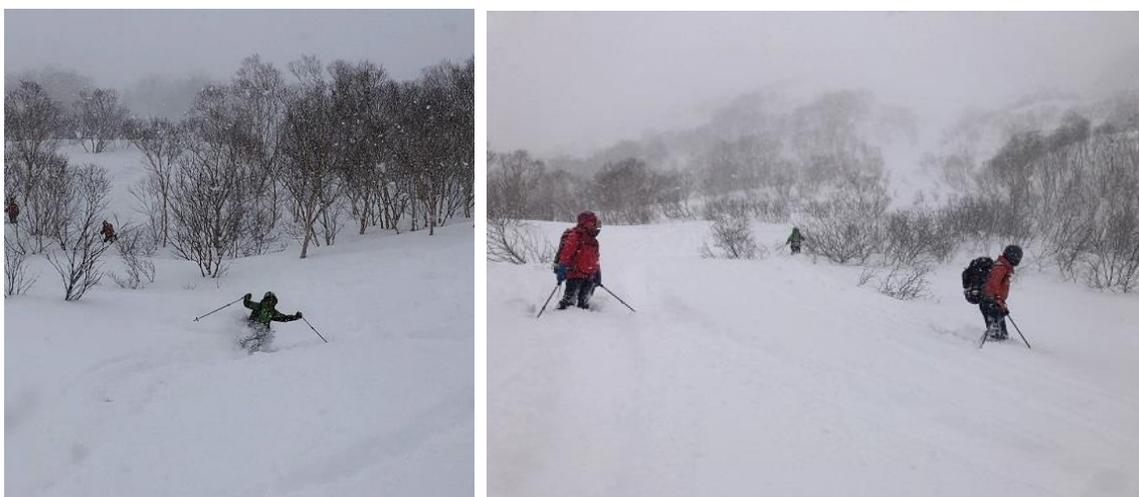
デーブパウダーランを更新し興奮状態です。今シーズンファットデビューの TA さんは太板の恩恵を十分実感しご満悦でした。激パウ得意の最年少の SA 君は今シーズン初フェイスショット！！にこれまた興奮最高潮です。この後は SA 君の先行していただき皆さんの滑りを撮影してもらいました。小生のフェイスショットとはいきませんが腰パウを激写していただきました。



沢地形に収束するエリアの小生の滑りです。沢地形滑走の TA さん。



トシちゃん最後のパフォーマンスです。自然園まで標高差 170m の満足の激パウランでした。緩斜面でも下りラッセルにはならず、ゆったりターンを刻めました。



林道を軽快に滑走し、ゲレンデに出る終盤、林道からショートカットのためブナ林に突入、



藪がやや煩くうねったパウダー斜面を慎重に滑走し最後に沢地形を横滑りで林道に降り
ました。2030m のエントリーポイントは日当たりの良い南斜面で積雪は 290 cm でした。



下地のやや硬い弱層が認められるオープンな急斜面が少しあり、滑走ではそのエリアを避けるように滑走したが、滑走により表面の乾雪が雪崩れるのが小範囲で認められた。ゲレンデに帰還して一安心し記念撮影、満足の



パウダーツアーでした。長いゲレンデ滑走の前に JACKY'S KITCHEN で休憩、テレマーカーの生ビール乾杯です。ゲレンデ滑走の前半は、テレターンの模範を示しながら滑走技術のレベルアップアドバイスをしながらです。大腿四頭筋がパンパンになってきたので、後半はアルペンターンにてゆっくり最後尾で下りました。

- 2 日目の 9 日は今回の宿泊パウダーツアーの最大の目的である蒲原山ツアーです。未経験でこの数年、体力の残っているうちに行ってみたいと考えていたルートでした。標高差 1000m の登り上げのため、ランニングによるトレを十分行い万全の備えで臨みました。しかし前夜からの降雪量が 50 cm 以上、大雪警報



が出ている中、平岩から木地屋に向かう道路は除雪されているものの、厳しい雪道運転、雪が降り続く中不安いっぱい何と木地屋の除雪終了地点手前の駐車スペース(4~5台分のみ)に到着しました。この厳しい気象状況の中、先行者はいません。それでも支度をしている間に、「go go!!」と言わんばかりに、雪は止みテンションが上がってきました。8:30いよいよ除雪終了地点をスタートです。



さてどこまで行けるか?? 過去 2 回残雪期にここから蓮華温泉までシール登行した時の CL トシちゃんはこのルートが大好きです。彼を先頭に未除雪地帯に踏み込んだ直後から、大変な状況です。膝上重激ラッセルに板が上がりません。小生を除くメンバーにその事実を確認していただきました。一目瞭然です。勇気をもって?? 撤退と決めました。来年に期待しましょう。



コルチナや乗鞍温泉スキー場でのゲレンデスキーでもと向かったが、道路状況が悪く上がれない車のため渋滞、また強風で滑る意欲が急になくなり、おとなしく「ほかほかランド美麻」で温泉と昼食を食べ帰葉しました。